

ウェブサイトはこちら!

福島第一原子力発電所で働く
みなさんへのお知らせ

2018年

月刊 いちえふ。 8月

INDEX

■ いちえふのいま

3号機燃料取り出しに
向けた対応状況

■ 1Fを守る仲間たち

● 自動運転EVバス

運行支援チームのみなさん

■ 安全の心得【火気作業編③】

■ いこいの時間

絵合わせ

プレゼント

福島名産の
詰め合わせ

とびっくす



9月1日は「防災の日」です!

9月1日は「防災の日」、8月30日～9月5日は「防災週間」です。この機会に、再度防災対策をしっかりと行うようにしましょう。



長時間運転時には休憩を入れましょう

この時期は休みに入る人も多く、渋滞が予想されます。長時間の運転をする際には休憩をこまめに取るようにしましょう。



第100回夏井川流灯花火大会が開催されます!

いわき市平神橋下(夏井川河原)で8月20日に開催予定です。ナイヤガラ滝と6000発の花火が100周年に花を添えます。

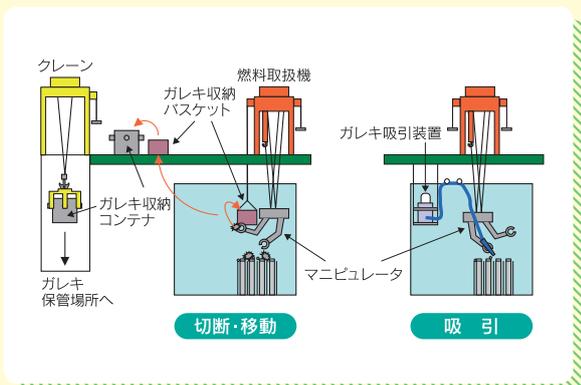


いちえふのいま

3号機燃料取り出しに
向けた対応状況

使用済燃料プールからの燃料取り出しで使用するクレーンの試運転中に制御盤で確認された不具合については、故障した機器を交換し、7月14日の試運転にて正常に動作することを確認しました。

今後、燃料取り出しに向けて、プール内のガレキ撤去作業および作業員の技能向上のための実機訓練を行ったうえで、2018年11月中の燃料取り出し開始を目指し、安全最優先で準備作業を進めます。



ガレキ撤去作業のイメージ



大変だったから喜びもひとしお 1Fで走り始めた自動運転EVバス

今年の4月18日から、運転手が必要ない自動運転のEVバス（電気で動くバス）3両が、1F構内で走り始めました。実用的な目的で使われるものとしては日本で初めてです。今回は、そのバスの導入や運行に携わってきた2社、3人の方々にお話をうかがいました。

フランスから輸入したEVバスを 1Fに合わせて調整・設定する



—— どういう経緯で、自動運転のEVバスを走らせることになったのですか。

須山さん：SBドライブでは、自動運転のバスを世の中に広めようという仕事をしています。車両は自分たちで改造したり輸入をしたりして、東京や北海道をはじめとして全国で実証実験をしてきました。実際にお客様を乗せて走らせたいと思っ

Message

今後も、EVバスなどいろいろな形で、みなさんに協力、支援できることがないか探していきます。



(写真左から)

須山 温人さん (SBドライブ) 齋藤 広治さん (三井物産プラントシステム)
吉川 安博さん (三井物産プラントシステム)



須山さんのオペレーター研修の様子(EVバス車内)

ていたところ、1Fで必要とされていることを知ったのです。

齋藤さん：そこで三井物産プラントシステムでは、須山さんの会社と協力して、フランスのナビヤ社の車両を輸入するという事でコンペ（競争入札）に参加しました。私たちの会社は、車両および関連部材などの輸入販売をしていますが、実は自動運転EVバスの取り扱いは今が初めてで、ナビヤ社との仕事も初めてでした。それでも、ナビヤ社はフランスの発電所で使用されている実績もあり、組もうと考えたのです。

日仏の企業文化の違いにとまどいつつ 朝4時まで電話会議を続けた日も

—— 初めてのことばかりで、大変だったと思いますが。

須山さん：何よりも、これまで実証実験していた場所とくらべて、環境が特殊だという点でした。手袋やヘルメットなどの装備が必要ですし、限られた滞在時間の中で、すべてを終わらせなくてはなりません。



齋藤さん：ナビヤ社との仕事では、フランス人と日本人ということもあり、ものの考え方や企業文化も違うので、そのすり合わせには苦労しました。昨年末から今年初めまで、電話会議を重ねながら、なんとか1月末に契約にこぎつけました。

時差があるので、毎日残業して昼夜を問わず、朝9時すぎから翌朝4時までぶっ続けて電話会議をした日もありました。



吉川さん：特に、日本ならではのスピードや精度を、ナビヤ社に理解してもらったのが難しかったですね。でも、ナビヤ社も日本市場を重要視しており、懸命に対応してくれました。

—— 実際に運転が始まったときは、どう感じましたか。

齋藤さん：何もかも初めてで、確かに大変でしたが、逆にそれだからこそやりがいがあって、うまくいったときは苦勞が報われたという気持ちになりましたね。日本から約1万キロ離れたフランスでつくられたEVバスが福島で使われて、多くの人を運んで廃炉に少しでも貢献できると考えると、喜びもひとしおでした。

1Fで働くたくさんの人を見て 貢献したいという気持ちが強くなった



—— みなさんが初めて1F構内に入ったときには、
どのような印象を受けましたか。

齋藤さん：セキュリティーが万全だなというのが第一印象でした。また、安全にも細かく気を配られていることが、あちこちから伝わってきました。

吉川さん：何千人という人が構内で働いているのを見て驚きました。同時に、そんなことも知らなかった自分が恥ずかしいという気持ちにもなりました。もっと多くの方に知ってほしいですね。また、ほかに少しでもお手伝いできることがないのか考えるようになりました。



1Fに導入されるEVバスの外観



日本初！実用化でのオペレーター研修1期生のみなさん

須山さん：入る前は、中で何が起きているかよくわからず、安全なのか不安でした。ですが、いざ入ってみると、多くの人たちが全力で一つのことに向かって頑張っている場所だとわかりました。そういう場所で少しでもみなさんの力になることができ、誇らしい気持ちになりました。

—— 今後、1Fの自動運転EVバスは
どのように変わっていきますか。

須山さん：まだ安定運行できていないところもあって、ご迷惑をかけていると思います。今後とも努力を重ねていきますのでご理解ください。近い将来、台数を増やしたり、走れるエリアを増やしたいですね。

つと お勤め先

SBドライブ／三井物産プラントシステム

SBドライブは、主に自動運転を行うためのソフトウェアの設定やオペレーターの育成支援を実施。三井物産プラントシステムは、電力・交通・製鉄・化学などのインフラや産業向けに設備機器などを主に取り扱っている。

● 続きはウェブサイト「1 FOR ALL JAPAN」でお読みください
URL：<https://1f-all.jp/interview/51/>

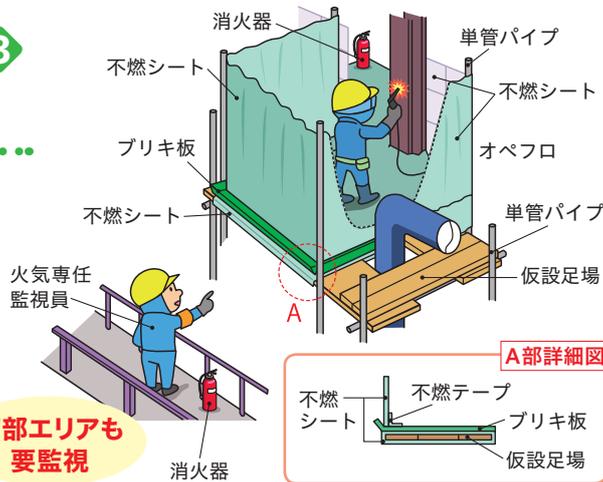
安全の心得

火気作業編 ③

火災防護の3原則 ③

火気監視の徹底

- ① 火気専任監視員（クラス1A作業）は**専用腕章**などを着用（シールなどでも可）
- ② 養生を移動しながら火気作業する場合、養生の**移動の都度**、養生が十分であることを**確認**
- ③ 下部エリアがある場合には、**下部エリアに監視員を配置し監視**
- ④ 下部エリアから作業が監視できない場合には、作業エリアにも**監視員を配置し監視**



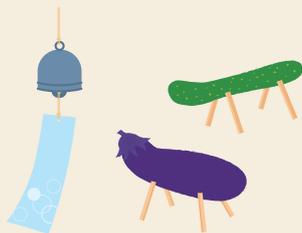
下部エリアも要監視

A部詳細図

いこいの時間

絵合わせ

今月は絵合わせです。絵は「夏井川流灯花火大会」の灯籠流しです。6つの絵の中には同じ絵が2つだけあります。おわかりになりますか？



応募方法・プレゼントのお受け取り方法

正解した方の中から抽選で5名様にプレゼントをさしあげます。

入退域管理棟、福島第一登録窓口通用口にある応募箱に必要事項をご記入のうえ、ご応募ください。

応募箱設置期間 8月10日～9月10日

- *応募用紙は応募箱横に設置しています。
- *当選者の発表はプレゼントの発送をもってかえさせていただきます。
- *答えはウェブサイト「1 FOR ALL JAPAN」新着情報で発表します。

今号のプレゼント

福島名産の詰め合わせです。

※賞品は写真と異なる場合がございます



1FOR ALL JAPAN
廃炉のいま、あした

ウェブサイトの紹介

<https://1f-all.jp/>

福島第一原子力発電所の廃炉事業を進める作業員のみなさんに、働く仲間や応援者のメッセージを伝えるため2015年10月に開設した「1 FOR ALL JAPAN」です。ウェブサイトでも本誌でも、作業員のみなさんを応援していきます。



月刊いちえふ。
2018年8月号

【発行日】2018年8月10日

【発行】
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
廃炉コミュニケーションセンター
コミュニケーション推進グループ

【お問い合わせ先】
Mail:info@1f-all.jp